

Ⅱ 事業

西河原公民館図書室の事業については、
「狛江市公民館の活動の記録(令和4年度)」を御覧ください。

1 子どもと子どもの読書活動を支援する人へのサービス

子どもたちが読書の楽しさや喜びを知り、読書する力を身につけるため、子どもの発達段階に応じた資料を選定・収集し提供しています。また、おはなし会をはじめとするイベント事業や各種推薦図書リストの発行、図書展示のほか、小・中学校や学校図書館との連携、子どもの読書活動を支援する大人へのサービスなどを継続して行っています。

令和4年度は「第四次狛江市子ども読書活動推進計画」に基づき、新たな試みとして「えほんのひろば」や「推薦図書展示会」などを開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として開催を見合わせたり縮小したりしていた従前の各事業をさらに見直し〈設置型のイベント〉や〈屋外のおはなし会〉に加え、現状で取り組める範囲を徐々に広げ〈参加型体験イベント〉を企画しました。

<イベント・講座>

事業名	日程	内容	対象者
こどもの読書週間 (4/23～5/12)	4月23・29日 5月4日	青空おはなし会(全3回)	幼児向け
	4月28日～ 5月7日	特別貸出「ひみつのこづつみ」	幼児から小学生
	4月29日 5月5日	子ども図書館員	小学5・6年生
図書館体験 (夏季休業期間)	7月26日	バックヤード親子ツアー	小学1・2年生と保護者
	8月3日～8日	バックヤードツアー	小学3～6年生
	8月9日・23日	謎解きチャレンジ	小学5・6年生
秋の読書週間 (10/27～11/9)	10月1・15・29日 11月6・20日	秋空おはなし会(全9回)	幼児向け
	10月22日	工作教室「本の帯をつくろう」	小学生向け
	11月2日～28日	わが家の「読む時間」写真展	中学生以上
	11月3日	えほんのひろば	赤ちゃんから大人まで
児童行事实技講座	11月17日 12月10日	親子でいっしょにあそぼう わらべうた	赤ちゃんと保護者
図書館体験 (春季休業期間)	3月25日	推薦図書展示会	幼児から小学生
	3月25日～ 4月3日	特別貸出「本の福袋」	小学生向け
	3月28日	子ども図書館員	小学5・6年生

◆バックヤード親子ツアー

[開催日時] 7月26日(火) 午前10時30分～11時30分

[参加者] 7組14人(小学1・2年生と保護者)

◆バックヤードツアー

[開催日時] 8月3日(水)～8日(月) 午前9時30分～10時10分

[参加者] 26人(小学3～6年生、6日間延べ人数)

普段は立ち入ることの出来ない書庫を中心に図書館の裏側を見学するツアーを実施しました。可動式書架のハンドルを動かしてみたり、低学年向けのツアーでは、休館日の図書貸出室で親子一緒に参加の利用ガイダンスを行いました。



◆工作教室「本の帯を書いてみよう」

[開催日時] 10月22日(土) 午後1時30分～3時30分

[場所] 中央公民館 視聴覚室

[参加者] 6人(小学生)

[講師] 松原礼子さん(元小学校司書)

自分のお気に入りの本の魅力を伝える「本の帯」の書き方教室を開催しました。本文から好きな言葉を抜き書きしたり、悩みながら何通りも下書きをして絵を描いたり、それぞれに試行錯誤しながら満足のいく一枚を完成させました。



◆えほんのひろば

[開催日時] 11月3日(祝木) 午前10時～正午／午後1時30分～3時30分

[場 所] 市民ひろば(市役所前・特設テント)

[参加者] 29組67人

おはなしボランティアが事前に読む練習をした40冊の絵本の中から、子ども自身に好きな絵本を1冊を選んでもらい読み聞かせを行いました。個別に1組ずつ行うことで、一人ひとりのペースに合わせた対応ができました。一緒に参加した保護者からは「自分も童心にかえって楽しめた」との声があり、通りがかりの来館者も多くの方が関心を寄せて足を止め、並べた絵本や読み聞かせの様子を眺めていました。



◆児童行事実技講座「親子でいっしょにあそぼう わらべうた」

[開催日] 11月17日(木)

12月10日(土)

[時間] 午前10時～正午の間、対象年齢別に1回15分～20分程度とし、9講座を実施

[開催場所] 中央公民館 和室

[参加者] 22組

[講師] 田村泉さん・長谷川まゆみさん(元保育士・サポート狛江会員)

[テーマ] 親子でいっしょにあそぼう わらべうた

親子の触れ合いの一助・絵本の導入となるわらべうたを伝える場としてこの企画を行いました。対象年齢別での講座はその年齢の子に合った内容であり、また保護者同士・子ども同士が仲良く話をしながら、わらべうたを楽しんでいました。



◆図書展示会「読書のみちしるべ 本の森へようこそ」

[開催日時] 3月25日(土) 午前10時30分～3時30分

[場 所] 中央公民館 第四会議室

[参加者] 延べ49人



コンテューゴあなたといっしょ



小学生向けの推薦図書120冊を並べた図書展示会を実施しました。会場内では、低学年・中学年・高学年の3回に分けてブックトークイベントを行い、それぞれの本の魅力を伝えました。また、展示している中から自分のお気に入りの本にシール投票をしてもらい、それをきっかけに親子や友人同士でお互いの気になる本を伝え合う様子がうかがえました。

<市立保育園への配本サービス>

市立保育園を対象に、絵本セットの配本サービスを実施しています。季節に合わせた絵本を中心に、食育や自然科学に関する絵本等を交えて図書館員が選定しています。毎回、コンテナ1箱に50冊程度を入れて届けています。

	第1回	第2回	第3回	第4回	合計
冊数	55冊	50冊	50冊	50冊	820冊
藤塚	6/1～8/3	8/3～11/2	11/2～1/25	1/25～3/15	205冊
駄倉	5/25～7/27	7/27～10/26	10/26～1/18	1/18～3/8	205冊
駒井	5/25～7/27	7/27～10/26	10/26～1/18	1/18～3/8	205冊
三島	6/1～8/3	8/3～11/2	11/2～1/25	1/25～3/15	205冊



<おはなし会>

子ども向けのおはなし会事業は、市内のおはなしグループや個人登録のおはなし会ボランティアの協力を得ながら、絵本の読み聞かせを中心に手遊び歌や折り紙工作などを交えたプログラムで行う定例会の他に、クリスマスなど季節のおはなし会や土曜日開催のおはなし会など、さまざまな機会をつくってきました。令和4年度は、「青空おはなし会」の実施にあたり、市内で活動する複数のおはなしグループの参加協力を得て回数を増やしました。また、終了後には合同で振り返りの機会を設け、グループ間の交流のきっかけを作りました。



こまえほんの会



おはなしこまえ



りぷりんと・狛江 かわせみ



狛江おはなしの会くーすけ

<えほんのじかん・親子で楽しむおはなし会>

令和4年度も感染症拡大防止対策を念頭においた形式で少人数、短時間での開催を継続しました。

「親子で楽しむおはなし会」は、6月まで保育施設を対象とした時間を設けて行いました。3月からは0・1歳対象の会を2回行い、定員数を超えないよう努めました。「えほんのじかん」においては、8月から15:15から16:00受付までの時間内で、その時間に来館した子どもに合った時間と絵本の読み聞かせで、個別に対応できるよう変更しました。(最大15分・親子兄弟可)

	えほんのじかん	週末えほんのじかん	親子で楽しむおはなし会		
開催日	毎週水曜日	第3土曜日※ ₁	第2・4木曜日		
対象	4歳から小学生	幼児と保護者	0・1歳児と保護者	2・3歳児と保護者	保育施設※ ₂
実施日数	46日(72回)	7日(7回)	23日(24回)	23日(22回)	5日(5回)
参加人数	171人	43人	84組	69組	子ども9人 引率5人

※₁ 状況によって変更する場合あり

※₂ 家庭保育室や家庭福祉員(保育ママ)と来館する児童

<図書展示>

季節の行事や子どもたちの身近な事柄をテーマに、関連する絵本や図書を集めたり、それにちなんだ装飾を行うなど、本との出会いのきっかけをつくる企画展示をしています。

期間	特集テーマ	設置場所
3/30～4/25	いま、どんなきもち？ 喜怒哀楽を考える本	児童書展示スペース
4/28～5/9	「ひみつのこづつみ」～どもの読書週間企画～	児童書展示スペース
5/11～5/30	はじめて学ぶお金の話	児童書展示スペース
5/11～6/16	あめがすきな、だあれ？	児童書展示スペース
6/1～6/16	安心な水とトイレを世界中に【SDGs目標6】	児童書展示スペース
6/29～7/4	Books for you 2022 このほんしってる？ 図書館員がすすめる本	児童書展示スペース
6/29～7/7	七夕の本	児童書特設展示
7/6～7/18	あつい！ 熱い厚い暑い	児童書展示スペース
7/8～7/18	パンダがいっぱい	児童書特設展示
7/20～8/14	海と山 夏休みに行くならどっちにする？	児童書展示スペース
7/20～8/31	夏休み課題用参考図書	児童書特設展示
7/27～8/29	戦争を知り、平和を考える子どもの本	児童書特設展示
8/17～9/5	めぐる季節の年中行事 花火と祭と行事の本	児童書展示スペース
8/31～9/26	からだのキモチ こころのカチ 【SDGs目標5】	児童書特設展示
9/7～9/12	お月さまの本	児童書展示スペース
9/14～9/26	動物愛護週間	児童書展示スペース
9/28～10/10	グルメな絵本 おいしい秋みつけた！	児童書展示スペース
10/12～10/31	旅する絵本	児童書展示スペース
11/2～11/28	わが家の「読む時間」写真展 ～読書週間企画～	正面入り口付近特設
11/2～12/25	クリスマスの絵本	児童書特設展示
11/16～11/28	秋の自然を楽しむ本	児童書展示スペース
12/7～12/26	みんなの作った「本の帯」～読書週間企画～	児童書展示スペース
12/7～12/26	雪と氷のふしぎ つめたい空からのおくりもの	児童書特設展示
12/28～1/9	お正月によみたい本・お正月遊びの本	児童書展示スペース
1/11～1/30	うさぎがいっぱい	児童書展示スペース
2/1～2/20	ちゃんと読んでおきたい日本の昔ばなし ～節分～	児童書展示スペース
2/8～2/20	いちごの本	児童書展示スペース
2/22～3/13	自分の力で道をひらく！ やりぬく女の子の物語 ～ひなまつり～	児童書展示スペース
3/8～3/20	3.11あの日のこと 東日本大震災のその後を語り継ぐ本	児童書特設展示
3/15～3/24	絵本でパンをいただきます！	児童書展示スペース
3/25～4/3	本の福袋 ～読書のみちしるべ編～	児童書展示スペース

4月)いま、どんなきもち？



4月)子ども図書館員のひとこと



6月)安全な水とトイレを世界中に



8月)あつい! 熱い厚い暑い



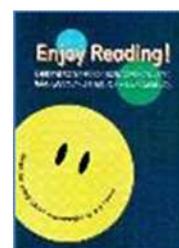
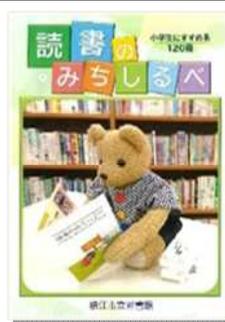
3月)本の福袋 読書のみちしるべ編



＜推薦児童図書リストの発行＞

図書館がすすめる本を手にとってもらえるように、紹介冊子やリーフレットを作成し、対象資料の特集コーナーを設置しています。また、発行物は市内図書室や学校図書館などへも配布しています。令和4年度は、「読書のみちしるべ 小学生にすすめる本」を改訂しました。発行に合わせて対象資料を並べた図書展示会を開催し、ブックトークイベントも実施しました。

タイトル	発行日	内容
このほんしってる？2022 (幼児から小学生まで)	年1回発行	前年に刊行された児童図書や絵本の中から選定して紹介
Books for you 2022 (中学生から)	年1回発行	前年に刊行された児童図書の中から選定して紹介
赤ちゃんに贈るファーストブック (0・1・2歳児に読んであげたい絵本)	令和4年11月改訂5版3刷 (平成22年1月初版)	ブックスタート事業で配布
図書館で会える絵本 (3～6歳に読んでほしい絵本)	平成30年3月改訂2版 (平成22年3月初版)	読み継がれた優良絵本を中心に選定して紹介
読書のみちしるべ (小学生にすすめる本)	令和5年3月改訂版 (平成27年3月初版)	読み継がれた基本図書を中心に学年別に選定して紹介
Enjoy Reading! (中高生にすすめる本)	令和5年3月初版3刷 (令和2年3月初版)	中高生の身近にあるテーマを中心に選定して紹介



＜絵本の貸出ベストリーダー10＞

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

順位	タイトル	作者	出版社
1	おばけのてんぷら	せな けいこ／作・絵	ポプラ社
2	11ぴきのねことあほうどり	馬場 のぼる／著	こぐま社
3	からすのパンやさん	かこ さとし／作・絵	偕成社
4	しょうぼうじどうしゃじぶた	山本 忠敬／え	福音館書店
5	おおきなかぶ	佐藤 忠良／画	福音館書店
6	うんちしたのはだれよ！	ヴォルフ・エールブルッフ／絵	偕成社
7	おふるだいすき	林 明子／絵	福音館書店
8	やさいのおなか	きうち かつ／さく・え	福音館書店
	こねこのチョコレート	大社 玲子／絵	こぐま社
9	おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん	長谷川 義史／作	BL出版
10	ぐりとぐら	大村 百合子／え	福音館書店
	せんたくかあちゃん	さとう わきこ／さく・え	福音館書店
	ぼく、だんごむし	たかはし きよし／え	福音館書店

<ヤングアダルト (Young Adult) >

主に中高生を中心とした若い世代をヤングアダルトと呼び、世代の特性を考慮した資料の収集を行っています。令和4年度は、市立中学校の図書委員会や職場体験生にも参加を呼びかけ、「本の帯」や読書する様子を撮影した写真の募集をしました。寄せられた作品は、一般参加の作品と共に館内で掲示等しました。

◆わが家の「読む時間」写真展 【展示期間:11月2日(水)~28日(月)】



秋の読書週間で募集し「読む時間」をテーマに撮影した20枚の写真を図書館入り口に掲示しました。自宅で親子一緒に絵本を広げる様子や友人と一緒にスマートフォンで電子書籍を覗く様子、屋外キャンプのテントに持ち込んだ本など、様々なシチュエーションで読書するそれぞれのひと時を垣間見ることができました。

◆みんなの作った「本の帯」 【展示期間:12月7日(水)~26日(月)】



秋の読書週間で実施した工作教室に参加した小学生や職場体験の中学生が書いた作品の他、一般応募の作品を交えて展示しました。



<学校図書館への協力貸出>

市内小・中学校の各学校図書館を窓口として協力貸出を行っています。毎週1回 FAX 受付による貸出依頼のほか、インターネット予約や来館取り置き分を含めた資料の配送も行います。配送は週2回月曜と木曜に学校専用便を運行し、学校間同士の相互貸借にも利用できます。令和4年度は85回実施しました。

小学校名	狛江第一小	狛江第三小	狛江第五小	狛江第六小	和泉小	緑野小	小学校計
貸出冊数(冊)	432	104	1,064	468	866	104	3,038
(内学級文庫)	(0)	(0)	(710)	(0)	(0)	(0)	(710)

中学校名	狛江第一中	狛江第二中	狛江第三中	狛江第四中	中学校計	全校計
貸出冊数(冊)	408	595	294	264	1,561	4,599
(内学級文庫)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(710)

<施設見学・職場体験>

小学校の地域探検や公共施設見学、中学生・高校生が学校を離れて地域の商店や民間企業、公的事業所などの職場で、実際に仕事を体験する事業を受け入れています。

図書館では、職場体験の「働くことの意義や仕事の大切さを感じ取る」などの目的が達成できるように支援するとともに、生涯を通じての読書習慣や図書館利用の促進を図ることを目的として実施プログラムを組んでいます。

令和4年度は、中学校からの要望に応じて、校内で作業し納品してもらう形式の「受注型職場体験」を試行しました。その他にも新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した取り組み方を工夫し実施しています。



種別	実施日	学校名	学年	人数
施設見学	9月13日	狛江第一小学校	2年生	129人 (4クラス+いずみ学級)
	10月11日	狛江第六小学校	2年生	84人(3クラス)
	1月24日	狛江第三小学校	2年生	114人(4クラス)
職場体験	10月5~7日	喜多見中学校	2年生	3人
	2月16・17日	国本女子中学校	2・3年生	3人
職場訪問	7月8日	狛江第三中学校	2年生	4人
	10月26日	狛江第一中学校	1年生	11人
	2月2日	狛江第二中学校	1年生	2人
その他	7月26日	芦花高等学校 ※1	1年生	1人
	11月28~30日	狛江第一中学校 ※2	2年生	5人

※1 電話インタビュー対応 ※2 受注型職場体験

2 読書の楽しさを知るきっかけづくり

<ブックスタート>

ブックスタートとは、赤ちゃんとその保護者が、絵本を介してゆっくり向き合い、心触れあうひとときを持つためのきっかけづくりをすることを目的とした事業です。

市では、例年、司書とブックスタート説明員が3～4か月児健康診査会場で赤ちゃんに対面で読みきかせを行い、絵本一冊と「絵本リスト」などを贈呈していました。令和4年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う3～4か月児健康診査の集団検診が中止となったため、希望者への読みきかせを実施。174組の親子に読みきかせを体験いただきました。その他の方々へは、郵送により絵本と絵本リスト等の贈呈をしました。



ブックスタート配布絵本タイトル(内訳)	冊数
いないいないばあ(童心社)	133 冊
じゃあじゃあびりびり(借成社)	203 冊
がたんごとんがたんごとん(福音館書店)	15 冊
くだもの(福音館書店)	15 冊
ぴよーん(ポプラ社)	155 冊
おつきさまこんばんは(福音館書店)	29 冊

平成		令和		
30年度	31年度	2年度	3年度	4年度
668 冊	697 冊	639 冊	613 冊	550 冊



【ブックスタートパック】

<セカンドブック・サードブック>

小学校1年生・中学校1年生の児童・生徒に対し、読書の楽しさを知るきっかけづくりと、自発的な読書活動につなげることを目的として、セカンドブック事業・サードブック事業を実施しています。司書がお薦めするセカンドブック12タイトル、サードブック16タイトルの中から子ども自身に一冊を選んでもらい、本への親しみや興味を持ち、豊かな心の醸成に繋がるような、今後の人生の宝となる本との出会いとなることを願って贈呈をしました。



【対象本の展示】

令和3年度の小学校入学者からセカンドブックは市内各小学校の教室にて見本図書を展示し、実際に一冊ずつ手に取ってもらったうえで、贈呈本を選んでいただきました。令和4年度入学者についてはサードブックも同様に市内中学校の教室で申請を受け付ける方法に変更しています。なお、見本図書はそのまま各教室に設置し、学校での読書活動等に役立てていただいています。また市内公立小・中学校以外の私学等に進学した児童・生徒については、対象者の保護者宛てに申請書を郵送し、電子申請を利用していただく取組も令和4年度からの新たな方法として行いました。また、令和4年3月30日から5月2日までの期間、図書館・各図書室において見本図書の展示、および子ども読書啓発事業のPRを行いました。

令和4年4月入学の子どもを対象としたセカンドブック・サードブックの贈呈明細は、次のとおりです。

【令和4年4月小学校入学者セカンドブック贈呈内訳】

令和5年1月31日最終集計

タイトル	冊数	タイトル	冊数
ちからたろう(ポプラ社)	33冊	なぞなぞのすきな女の子(学研)	79冊
こねこのびっち(岩波書店)	77冊	1ねん1くみ1ばんワル(ポプラ社)	48冊
ひとまねこざる(岩波書店)	77冊	番ねずみのヤカちゃん(福音館書店)	51冊
ろくべえまってるよ(文研出版)	31冊	ふたりはともだち(文化出版局)	42冊
すいかのたね(福音館書店)	90冊	ダンゴムシみつけたよ(ポプラ社)	78冊
わにのはいた(大日本図書)	41冊	ぼく、あぶらぜみ(福音館書店)	29冊
		合計	676冊

【令和4年4月中学校入学者サードブック贈呈内訳】

令和5年1月31日最終集計

タイトル	冊数	タイトル	冊数
考える練習をしよう(晶文社)	39冊	精霊の守り人(偕成社)	25冊
武器より一冊の本をください(金の星社)	25冊	竜馬がゆく 1 立志篇(文藝春秋)	20冊
エンデュランス号大漂流(あすなろ書房)	37冊	ねらわれた星(理論社)	68冊
素数ゼミの謎(文藝春秋)	40冊	よりぬきマザーグース(岩波書店)	4冊
生活図鑑(福音館書店)	102冊	弟の戦争(徳間書店)	42冊
君たちはどう生きるか(ポプラ社)	23冊	マチルダは小さな大天才(評論社)	44冊
ポケット詩集(童話屋)	7冊	種をまく人(あすなろ書房)	7冊
羅生門 杜子春(岩波書店)	23冊	星の王子さま(愛蔵版)(岩波書店)	61冊
なぞなぞのすきな女の子※セカンドブック	1冊	合計	568冊



【セカンドブック】

見本図書抜粋



【サードブック】

対象本抜粋

3 成人へのサービス

さまざまな成人の利用者の要望に応えるため、資料を選定・提供しています。また、時事や季節に応じた図書展示や事業を行い、読書活動の推進を図っています。

令和4年度は、成人向けの事業として「聴く読書 かたりの世界へようこそ」を開催しました。

図書展示では、SDGsの17の目標をひとつずつ順番に紹介しました。その他、多彩な分野の入門本を特集した「はじめての」や読書週間のテーマ「この一冊にありがとう」に合わせて選んだ「人生を変えた本」が好評でした。

◆ 読書週間大人向け企画 聴く読書「かたりの世界へようこそ」

[開催日時] 11月6日(日) 午前10時～11時30分

[開催場所] 中央公民館 第四会議室

[参加者] 14人

[語り手] 狛江おはなしの会 くーすけ会員



読書週間の大人向け企画として、狛江おはなしの会くーすけにご協力いただき、企画を実施しました。日本の昔話や世界の創作話など、9プログラム行いました。

大人向けの「かたり」、特に方言による「かたり」はなかなか聴く機会ないとのことで、参加者には大変好評でした。また会場には、今回のプログラムの出典資料に加え、「かたり」の行い方や「かたり」の世界を記した本の展示を行い、耳から聴く読書の世界を楽しむ導入となりました。

<発行物>

発行日	タイトル
10月1日	「こまえ図書館だより 第75号」

<図書展示>

期間	テーマ	設置場所
4/6～5/9	はじめての	一般展示コーナー
4/13～5/16	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 2.飢餓をゼロに (ミニ展示)	一般展示コーナー
5/11～6/16	発酵食品を学ぼう 食育週間関連展示(健康推進課協力)	一般展示コーナー
5/18～6/16	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 3.すべての人に健康と福祉を (ミニ展示)	一般展示コーナー
6/29～7/25	「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ(男女共同参画週間)	一般展示コーナー
6/29～7/25	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 4.質の高い教育をみんなに (ミニ展示)	一般展示コーナー
7/27～8/22	平和を求めて2022 ～お帰り沖縄	一般展示コーナー
7/27～8/29	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 5.ジェンダー平等を実現しよう (ミニ展示)	一般展示コーナー
8/24～9/5	夏の疲れに効く本	一般展示コーナー
8/31～9/26	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 6.安全なトイレと水を世界中に (ミニ展示)	一般展示コーナー
9/7～9/26	敬老の日 (図書館で脳活～川柳募集 2022)	一般展示コーナー
9/28～10/31	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 7.エネルギーをみんなに。そしてクリーンに (ミニ展示)	一般展示コーナー
9/28～10/24	追悼 エリザベス女王	一般展示コーナー
10/9～11/5	「聴く読書 かたりの世界へようこそ」PR 展示 (ミニ展示)	一般展示コーナー
10/15～12/5	「親子でいっしょにあそぼう わらべうた」PR 展示 (ミニ展示)	一般展示コーナー
10/26～11/21	人生を変えた本(読書週間 2022 この一冊にありがとう)	一般展示コーナー
11/2～11/28	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 8.働きがいも経済成長も (ミニ展示)	一般展示コーナー
11/23～12/5	障害者週間 2022 (絵本を点訳してみよう)	一般展示コーナー
11/30～12/28	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 9.産業と技術革新の基盤をつくろう (ミニ展示)	一般展示コーナー
12/7～12/24	北朝鮮人権侵害問題啓発週間 (ミニ展示)	一般展示コーナー
12/7～1/9	鉄道開業 150 年	一般展示コーナー
12/10～12/28	ウクライナのほん (ミニ展示)	一般展示コーナー
1/5～1/30	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 10.人や国の不平等をなくそう (ミニ展示)	一般展示コーナー
1/11～1/30	新着大活字本	一般展示コーナー
2/1～2/27	ねこのほん	一般展示コーナー
2/1～3/6	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 11.住み続けられるまちづくりを (ミニ展示)	一般展示コーナー
3/1～3/27	災害に備えよう～東日本大震災から 12 年	一般展示コーナー
3/8～4/3	未来のためにできること 図書館でSDGsを知る 12.つくる責任、使う責任 (ミニ展示)	一般展示コーナー
3/15～4/17	追悼 大江健三郎 (ミニ展示)	一般展示コーナー
3/29～4/24	春らんまん	一般展示コーナー



4 利用支援サービス

中央図書館では、図書館への来館や読書に困難を感じる方を支援するサービスを行っています。障害者週間や敬老の日等に合わせて、利用支援サービスを周知および理解を深める機会とする展示や認知症予防の場として図書館をご利用していただけるような展示を行っています。近年の多様化する要望にこたえるため協力員のスキルアップや新規協力員の養成・増員が課題となっています。

<展示>

利用支援サービスの周知とより多くの方の利用促進を図る目的で、展示を行っています。

◆図書館で脳活！川柳募集 2022

[募集展示]9月7日(水)～9月26日(月)

[応募展示]10月5日(水)～10月31日(月)

図書館を脳活の場としてもご利用いただくとうと川柳を募集しました。敬老の日部門14句、健康部門10句、図書館部門27句と合計51句の応募があり、応募作品は図書館の入口に展示しただけではなく図書館だよりも掲載しました。



◆障害者週間 2022

[展示期間]11月23日(水祝)～12月5日(月)

毎年12/3から12/9の障害者週間にあわせて、展示をしています。令和4年度は、点訳講習会「絵本を点訳してみよう」を開催するのに伴い、粕江絵本点訳の会コスモスの方に制作していただいた点訳絵本を展示しました。展示棚上段では「点訳絵本の作り方」「点訳コスモスの活動」を紹介しています。



◆新着大活字本

[展示期間] 1月 11 日(水)～30 日(月)

大活字本は低視力の方や高齢の方などにも読みやすいように、文字の大きさや行間等を調節して大きな活字で組み直した本です。令和4年度に購入した大活字本を展示しました。通常下位巻は書庫にあります。この期間はすべて貸出室に置いて紹介しました。



<講習会>

◆音訳講習会

[開催日時]

- ① マルチメディア DAISY 講習会
11月9日(水)～11月11日(金)
午前10時～午後3時(全3回)

- ② 音訳講習会(校正)
11月24日(木)、12月8日(木)、12月22日(木)
午後1時30分～午後3時30分(全3回)

[開催場所] 第四会議室

[参加者] ①7名、②7名

[講師] NPO 法人 DAISY TOKYO



◆点訳講習会「絵本を点訳してみよう」

[開催日時] 12月7日(水)・14日(水)・21日(水)
午前10時～正午(全3回)

[開催場所] 第四会議室

[参加者] 5名

[講師] 伊藤聡子さん



<高齢者施設への配本>

高齢者への読書支援の一環として、市内の高齢者施設へ大活字本等の配本を行っています。令和4年度は、3施設に計360冊お届けしました。利用者からは「毎回楽しみに待っています」等の声が届いています。

配本施設名	冊数	配本日
狛江共生の家	150冊	5/10(配本のみ)
こまえ苑	150冊	7/5、9/6、 11/1、1/10、
グランド狛江参番館 ※9月以降配本中止	60冊	3/7(回収のみ)

<利用支援サービス事業実績>

利用支援サービスでは、印刷物を読むことがむずかしい方に録音資料の貸出、録音資料を再生する機器の貸出、点字資料の貸出、対面朗読を行っています。また来館することがむずかしい方には宅配サービスを実施しています。令和4年度は、昨年に引き続き宅配のご要望が多く、月平均7回のご利用がありました。

◎ 4年度利用登録者数（複数登録あり）

登録サービス名	登録者
録音資料の貸出	24人
点訳資料の貸出	5人
視覚障がい者用情報機器の貸出	13人
対面朗読	20人
宅配サービス	17人

◎ 宅配サービス実績

	配本回数	タイトル数
録音資料	0回	0
点字資料	0回	0
その他	88回	461
合計	88回	461

※その他には狛江市所蔵のCD、カセットを含む

◎ 登録協力員数

音訳者	13人
対面朗読者	14人

◎ 対面朗読実績

延べ回数	2回
時間数	4時間

◎ 録音資料・点訳資料

① 蔵書数

(単位：タイトル数)

	総数	うち4年度		
		製作	購入	寄贈
カセットテープ・CD	223	0	0	0
DAISY	281	5	0	4
点字資料	66	1	1	0

② 貸出件数

(単位：タイトル数)

	カセットテープ CD	DAISY	点字 資料
個人への 貸出	3(3)	92(91)	0
他市区等への 貸出	0	0	0

※カッコ内は相互借受分

5 図書館活動を支える人たち

今日の図書館において、より細やかな図書館サービスの充実を目指しそれを実践する上で、市民ボランティアの方々の存在は不可欠です。図書館利用者の一人でもあるボランティアの方々が、日頃の活動を通じて図書館をより理解していただけるよう、活動の推進に努めています。

<市民グループの活動>

中央図書館では、おはなし会事業や音訳・対面朗読など、それぞれの分野で活動する市民グループの方々と長きにわたり協働してきました。定期連絡会や講座・研修会などを通じて、各グループと図書館職員が交流しながら、図書館利用者へのサービスの充実に努めています。

活動区分	活動グループ	活動開始時期	活動者数
おはなし会	狛江おはなしの会くーすけ	平成 10 年	10 人
資料製作	布の絵本製作ボランティアはなみずき	平成 16 年 3 月	5 人
	狛江絵本点訳の会コスモス	平成 25 年 4 月	8 人

<図書館ボランティアの活動・養成講座>

平成 22 年 10 月、図書館活動への参加に意欲のある市民を対象に、図書館ボランティア養成講座を実施して個人のボランティア登録制度を開始しました。

令和4年度も昨年に続き、新型コロナウイルスの感染対策をしながら、できる範囲で取り組んでいただきました。それぞれの活動において「少しずつコロナ前の状況に戻していきたい」「自分のペースで長く続けていきたい」などの感想が寄せられています。

活動区分	主な内容	活動実績	活動者数
図書修理	資料の補修や破損修理など	137 日、1,298 冊を修理 (週2日、1回3時間程度)	11 人
館内整理	新聞・雑誌の整理整頓、書架整理	72 日 (開館前1時間程度)	4 人
資料整理	地域関連記事のクリッピングなど	63 日 (月6日、1回2時間半程度)	9 人
おはなし会	おはなし会の読み聞かせなど	37 日 (月3回、1時間半程度)	7 人

<ボランティア講座>

I 図書館ボランティア養成講座「図書館ボランティアってなあに」(新規登録者向け)

[開催日時] 3月14日(火) 午前10時～正午

[開催場所] 講座室

[対象] 館内整理・資料整理(新聞クリッピング)ボランティア希望者及び
新規点訳ボランティア

[参加者] 10名

[講師] 中川恭一さん(白百合女子大学特任教授)



新型コロナウイルスのまん延により、新規のボランティア登録を控えてきましたが、3年ぶりに新規の募集を行いました。ボランティアにおける「守秘義務」や「個人情報」の取扱いに加え、図書館の意義や歴史にもふれ、図書館への興味が深まった様子でした。受講した方のほとんどが、次年度のボランティア活動に参加いただけることとなりました。

II 図書館ボランティア養成講座「おはなし会継続者向け講座」

[開催日時] ①1月24日(火)午後2時～4時 ②1月31日(火)午前10時～正午
③2月15日(水)午前9時30分～11時30分

[開催場所] 講座室

[内容] ①紙芝居を作成するときの工夫と絵本との違いや演じ方について
②わらべうたの効用とおはなし会で伝えるわらべうたについて
③絵本とおはなしの関係について

[参加者] 延べ32人

[講師] ①宮澤ナツさん(紙芝居・絵本作家)
②田村泉さん(元保育士・サポート粕江会員)
③小林弥栄子さん(粕江おはなしの会くーすけ会員)



おはなし会の内容を中心に、内容を変えて3回の講座を実施しました。

各講師ともその分野において、長く携わってきた方のため、経験に基づくおはなしと実技は大変参考になり、これからの活動にいかしていきたいとの感想がありました。



各地域センター図書室の取組

<野川地域センター図書室>

実施日	取組と内容	備考
6月20日～7月7日	たなばた飾りつけ	
6月29日	たなばたおはなし会	親子16名
7月21日～8月31日	夏休み課題図書・自由研究関係図書等展示 夏休み課題図書・自由研究関係図書等1週間貸出	
7月21日～31日・ 8月1日～7日・ 18日～31日	地域センター図書室の午前中開室の実施	
8月3日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名
10月2日	リサイクル事業 ※1階 図書室前 廃棄本の無料配布(一般書・雑誌)	
10月31日	仮装で楽しむおはなし会	親子27名
12月	クリスマス展示 クリスマスツリーの飾り付け 関連図書の展示(11/20～12/25)	
12月14日	クリスマスおはなし会	親子34名
4月～3月 (8月は除く)	はじめてのおはなし会	親子79名 月平均7名
通年	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示 絵手紙紹介コーナー 「このほんしってる?2022年」紹介コーナー 「赤ちゃんに贈るファーストブック」紹介コーナー その月の行事等に合わせ、関連する絵本を展示 新着児童図書紹介コーナー	

<上和泉地域センター図書室>

実施日	取組と内容	備考
～5月2日	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示	
7月21日～8月31日	夏休み課題図書等展示 地域センター図書室の午前中開室の実施(8/8-17は通常開室)	

8月3日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名参加
12月	クリスマス展示 クリスマスの飾り付け 関連図書の展示(11/5～)	
3月10日	キテ・キテ親子おはなし会 1～3歳の子どもと保護者参加のおはなし会	9組 11名参加
3月29日～	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示 (ともに5/1まで)	
通年	リサイクル事業 ※1階ロビーにて 廃棄本の無料配布 書庫保管本のリストを作者別に掲示 緑野文庫(緑野小学校推薦図書)の展示 新着図書紹介コーナー 毎月テーマを決めて本(児童・一般)を展示	一般書 853冊 雑誌 361冊

<岩戸地域センター図書室>

実施日	取組と内容	備考
7月2日～7月7日	七夕かざり 短冊に願いごとを書いて笹につけてもらう	
7月21日～8月31日	夏休み課題図書等展示	
7月21日～8月31日	地域センター図書室午前中開室の実施(8/8-17)は通常開室)	
8月	夏休み子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	児童2名
10月16日	廃棄本の無料配布	一般書 560冊 児童書 180冊 雑誌 280冊
12月	クリスマスツリーの飾り付け 関連図書展示	
3月7日～	セカンドブック事業対象図書の展示 サードブック事業対象図書の展示 (5月1日まで)	
通年	本の展示 季節・行事に合わせた壁面飾り 寄贈本・行政資料の受け入れ このほんしってる? 2022 リサイクル事業(週刊誌) 1階ロビーにて廃棄本の無料配布 新着図書コーナー(一般・児童)	

	図書館で会える絵本(3～6歳に読んでほしい絵本) 小学生向け推薦図書の展示「読書のみちしるべ」 その月の行事に合わせ、関連する絵本を展示	
--	--	--

<南部地域センター図書室>

実施日	取組と内容	備考
4月～3月 (7・8・12月は除く)	親子で楽しむおはなし会(全9回) 読み聞かせ、パネルシアター、手遊び、簡単な工作等 (協力:小川美枝子さん)	延べ 親子 72組 150名
6月28日～7月7日	七夕かざり 短冊に願いごとを書いて笹につけてもらう	
7月7日	子ども七夕会 人形劇「なかよしこぶた・おばけのはなし」他 (協力:人形劇団ポッポ)	子ども 24名 大人 8名
7月21日～8月31日	夏休み課題図書・自由研究関連図書等の展示	
7月21日～8月7日 8月18日～8月31日	地域センター図書室の午前中開室の実施	
8月3日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	児童 2名
10月23日	リサイクル事業・廃棄本の無料配布(利用者発表会に合わせて)	1,006冊
12月14日	子どもクリスマス会 人形劇「ヤン助とヤン助とヤン助と」他 (協力:人形劇サークルぶんぶん) 午前2回:乳幼児対象 午後1回:幼児～小学生低学年対象	午前2回: 親子 41名 午後1回: 子ども 37名 大人 3名
3月29日～5月1日	セカンドブック・サードブック事業対象図書の展示	
通年	新着図書コーナー 絵本コーナーにその月の行事等に合わせ、関係する絵本を展示	

施設概要

館・室名	開館年月日	所在地	面積 (㎡)	閲覧席
		電話		
中央図書館	昭和 52 年 11 月 23 日	和泉本町一丁目 1 番 5 号 市民センター1F	1,310	一般 58 児童 2
		03-3488-4414		
野川地域 センター図書室	昭和 51 年 6 月 2 日	西野川一丁目 6 番 9 号 野川地域センター1F	108.0	6
		03-3480-2211		
上和泉地域 センター図書室	昭和 53 年 8 月 3 日	和泉本町四丁目 7 番 51 号 上和泉地域センター2F	131.7	6
		03-3489-9101		
岩戸地域 センター図書室	昭和 53 年 7 月 23 日	岩戸南二丁目 2 番 5 号 岩戸地域センター1F	86.6	5
		03-3488-7040		
南部地域 センター図書室	昭和 58 年 4 月 3 日	猪方四丁目 11 番 1 号 南部地域センター1F	119.0	6
		03-3489-2150		
西河原公民館 図書室	平成 18 年 8 月 11 日	元和泉二丁目 35 番 1 号 西河原公民館 1F	174.8	28
		03-3480-3201		

座席数は、令和5年3月31日現在の席数です。

登録番号R5-4

令和4年度図書館・図書室事業報告書

令和5年6月発行

発行・編集 狛江市教育委員会教育部図書館
〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号
電話 03(3488)4414

<https://www.library.komae.tokyo.jp/>

印刷 庁内印刷

頒布価格 無償